

<2025 年度共同教育学部・情報学部合同 留学生シンポジウムの報告>

2025 年 12 月 3 日に留学生シンポジウムが開催されました。留学生シンポジウムとは毎年群馬大学共同教育学部・情報学部に所属する GFL 生が主体となり企画・運営している国際交流行事で、異文化への理解・留学生との交流を深めることを目的としています。以下に、今年度の留学生シンポジウムの報告をいたします。

<留学性による発表>

1. ユン・ウィルさん（韓国）

母国である韓国の食文化の特徴と実際に日本でご自身が作られた料理を紹介してくださいました。その内容について紹介いたします。

① 韓国の食文化について

韓国の食文化には大きく 3 つの特徴があるそうです。1 つ目は辛さと強い風味、2 つ目は発酵食材の使用、3 つ目は様々なおかずと一緒に食べるということです。ただし最近の韓国の若い人は従来と異なり、それぞれの皿におかずを盛り付けることを好む傾向があるそうです。

② キムチチゲをつくる

ウィルさんがご自身で作ったキムチチゲの料理風景を、写真やイラスト、ユーモアを交えながら紹介してくださいました。日本でも買えることができる材料でキムチチゲを料理されていました。

2. ミコワイ・テルレツキさん（ポーランド）

母国であるポーランドの都市とその都市と観光名所などについて紹介してくださいました。その内容について紹介いたします。

① グタニスク

グタニスクは港町であり美しい古い建物が多くあります。またきれいな浜が広がっており、サーフィンをすることができる観光地です。

② ワルシャワ

ワルシャワには博物館や文化科学宮殿といった歴史的建造物があります。また、多くのコンサートやイベントが開催されます。

③ クラクフ

クラクフはポーランドの元首都であり、テルレツキさんの出身地です。ポーランドのクリスマスについてもお話しくださいました。

④ ザコパネ

ザコパネにはタトリ山脈があり、冬のスポーツが盛んです。テルレツキさんが実際に山に登っている写真も見せてくださいました。

<学生企画によるアクティビティ>

私たちは学生企画でクイズとbingoを行いました。それぞれのアクティビティの内容や参加者の様子を紹介いたします。

① クイズ

群馬大学で履修することのできる第二外国語の言語が公用語となっている国々に関してのクイズを行いました。問題としては、それぞれの国のスポーツや地理、文化について出題しました。クイズの難易度は高かったようですが、参加者はグループ内で活発に議論を行い、協力して答えを出していました。

② ビンゴ

カードに書かれた内容に該当する人物を見つけ出すことでbingoを達成するというゲームでしたが、会話はすべて英語で行い、なおかつ自分とは異なる出身国の方5人以上にカードに署名してもらうというルールを設けました。日本人学生、留学生関係なく、積極的に他の参加者に話しかけ、交流を育む様子が見られました。

<終わりに>

留学生シンポジウムの開催にご協力いただいた教職員の皆様に感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。また上級生や発表を快く受け入れてくださった留学生のお二人など、様々な人に助けられて開催することができました。今回の経験から、大きな学びを得ることができました。この経験を今後の学生生活だけでなく、社会に出た際にも生かしていきたいと思います。(磯部)

今回のシンポジウムは、学生を中心となって準備を進めてきました。このような企画に携わるのは初めての経験で、さまざまな課題もありましたが、留学生の皆さんと直接交流できる場を作れたことを、大変嬉しく思っています。最後に、発表者の皆様、そしてご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。(嶋田)



<文責>

情報学部 1年 磯部蒼登

共同教育学部 1年 嶋田来導